

# Newsletter

介護の社会化を進める

# MIYAGI

一万人市民委員会宮城県民の会

※※※※※ 発行人 ※※※※※  
特定非営利活動法人  
介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会  
代表理事 熊谷 道夫



皆さん、こんにちは。

このような良い天気の中、総会にご出席をいただきまして感謝申し上げます。

先程、定足数の話もありましたが、五十人位の予想しておりましたところ、こんなに沢山の皆さんにご出席をいただき有り難う御座います。また、お忙しい中ご来賓の皆様には、御臨席いただきまして、誠に有り難うございます。

今回の総会の議案につきましては、従来は原案を私がつくり、その原案をもとにして理事会で色々討議するという方式でございましたが、今回から各担当が原案をつくり、そして、理事会で討議をして一つの議案として纏めるという方式に変更を致しました。

そういう点で、項目ごとに若干整合性が取れない所もあるかもしれませんが、皆さんのご議論で是非カバーをしていただきたいと思います。おります。

すでに皆さんにご案内いたしました、六月十六日開催の設立二十周年の記念行事の話でございます。人数的というよりも規模的には二十周年記念行事ですので、従来のように大きい会場を選定して盛大にやりたいという考え方もありましたが、今日的な情勢、会のおかれている

「頑張らないけど諦めない」を胸に刻んで

代表理事 熊谷 道夫

立場等も考慮いたしましたして仙台市市民活動サポートセンターに於きまして、記念の講演とさやかな会員の交流を行うことに致しました。

歴史は連続と続くわけでございますが、今年二〇十七年、一〇〇年前は皆さんもご存じかも知れませんが、ロシア革命があった時代です。ロシア革命一〇〇年、日本国憲法は施行されて七〇年と私が関わっている民生委員制度が創設されて一〇〇年、想いで深い年になるわけです。わずか二十年の歴史でありますけれども、その中で、人、涙、また、沢山の汗をかいてご苦労された先輩、先人の皆さんに心から御礼を申し上げます。

これからも一万人市民委員会宮城、前代表の遺言であります「頑張らないけど諦めない」という言葉を胸に刻んで、高齢者の自立支援と要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現を図ると共に、制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする方に必要なサービスが提供されるようにする「利用者本位」の制度にするため、友誼団体と連携して活動して参りたいと思っております。

今後共、皆様方のご協力をお願いいたします。

# 総会模様

## 第16回通常総会が開催されました

平成29年5月30日に仙台市生涯学習支援センターに於いて、第16回通常総会が開催されました。荒井勝子副代表理事の開会の辞に続き、相楽美代子理事から出席者48名、委任状40名の報告があり、本総会の定足数充足の確認・成立が宣言された。

続いて、大坪俊男会員を議長に選任、議事録署名人に早坂幸代副代表理事・栗原節子常任理事が選任され、熊谷代表理事挨拶に続き、来賓の方々から次のような祝辞がありました。

◆介護職員の負担軽減や認知症の緩和などに効果があるとされるロボット介護の導入、また人材確保のための外国人介護福祉士の養成など大胆な政策による積極的な福祉行政を推進する

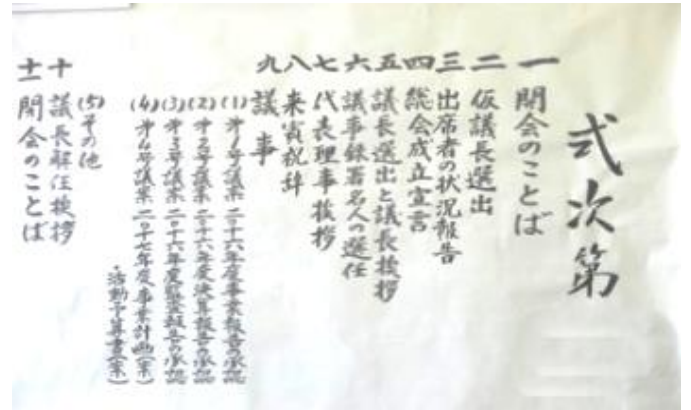
◆来年度は介護保険の改定の年になっています。ここ数年高齢者が3パーセントずつ増加しているわけで介護保険料の芳も上がってくるという形になると思います。利用の方を少しずつ抑えながらやっていかないとなかなか今後持続的なサービスができなくなっている。

◆週刊誌によると2050年に日本の人口は8千万人に減少すると、何が起きるかというところ所得税が50%になる。年金受給開始が78歳になる。

2025年には介護を必要とされている方が450万人増えて将来一人の若者が一人の高齢者を支えるという時代が来ると言われている。

将来を見据えながら運動の構築と共に、住まいや医療、介護、生活支援の総括的に地域で支えていくことを、われわれ全力で取り組んでいきたい

特定非営利活動法人  
介護の社会化を進める一万人市民委員会  
宮城県民の会 第16回総会



出席された来賓の皆様

◆2025年を目標にしまして皆さまが安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムの構築という思いで頑張っております。各関係機関と地域の皆様のご協力をいただきながらシステムの構築を地域ごとにやれるような形での体制づくりを……

◆今後増々増え続ける高齢者や認知症になられた方々、そしてそのご家族を含めて認知症になっても安心して暮らせる地域社会を築くためのグループホームを通じて微力ながら地域社会に貢献していきたいと考えております。



会場風景



休憩を挟んで議案の審議に移り、仲野紀夫専務理事から第1号議案2016年度事業報告、箕輪元三副代表理事から第2号議案2016年度決算報告、大倉克志監事から第3号議案2016年度監査報告され、3議案一括審議の結果承認されました。

次に仲野紀夫専務理事から第4号議案2017年度事業計画(案)、箕輪元三副代表理事から2017年度活動予算案(案)が提案され審議の結果承認されました。

以上で全議案の審議を終え、大坪俊男議長の解任挨拶の後、塩田智明理事の閉会のことばで第16回通常総会滞りなく閉会しました。



大坪俊男議長



司会する荒井副代表理事



出席状況を報告する相楽理事



挨拶をする熊谷代表理事



事業報告する仲野専務理事



決算報告する箕輪副代表理事



監査報告する大倉監事



会場風景



会場風景



出席されました来賓は次の方々です

宮城県保健福祉部長寿社会政策課  
 仙台市健康福祉局保険高齢部介護保健課  
 日本労働組合総連合会宮城県連合会  
 仙台市地域包括支援センター連絡協議会  
 NPO法人宮城県認知症グループホーム協議会  
 仙台市老人福祉施設協議会

課長補佐 野呂 英樹氏  
 課 長 大浦 健志氏  
 事務局長 大黒 雅弘氏  
 副会長 勝倉 弘幸氏  
 会 長 内海 裕氏  
 会 長 庄子 清典氏(都合により欠席)

# 設立 20 周年記念講演・会員交流会が開催されました

平成 29 年 6 月 16 日 (金) に設立 20 周年記念講演・会員交流会が仙台市市民活動サポートセンターに於いて盛大に開催されました。  
代表理事の挨拶に続き、木下昭二相談役のお祝いのメッセージが團理事により代読

記念講演・会員交流会に先立ち、前代表理事大川昭雄氏夫人早枝子氏に感謝状と記念品が贈呈されました。  
当日は早枝子氏の代わりに長女の大川優子氏が出席され、謝辞の代読をされました。



感謝状贈呈式



感謝状



記念品



謝辞を代読する大川さん

次に (医) みやぎ清耀会緑の里クリニック MSW 八戸宏氏を講師に迎え「ともに生きるとは～超高齢社会を生きる～」をテーマに深沢七郎作 榎山節考 (緒形拳・坂本スミ子主演) の家庭における口減らし、昭和 20・30 年代の地域コミュニティの向う 3 軒両隣と町内、向田邦子作 男どき・女どきの学校と地域のつながり、脚本家山田太一さんの家族は「人」を知る場所です、について、身振り手振り、擬音、時には歌入りで、地域包括ケアシステム構築に当たって、家族、隣人、町内を核とした地域における共生・互助による地域コミュニティづくりについてのお話の後、次の銘文



講師：八戸宏先生

を紹介されて講演を締め括りました。

あなたの知らない所に  
色々な人生がある  
あなたの人生が  
かけがいのないように  
あなたの知らない人生も又  
かけがいが無い  
人を愛すると言うことは  
知らない人生を



講師紹介する荒井さん



講師紹介する小山さん



続いて記念講演会の講師八戸宏先生、大川優子さんを交え、会員交流会に移りました。

鈴木啓子相談役の祝辞の後、アトラクションとして、栗原節子さんのハーモニカ演奏、櫻井洋子さんのバイオリン演奏、八戸先生の津軽民謡「弥三郎節」、会員の数々の余技演技の飛び入り披露があり、親睦・懇親・交流の場は多いにもりあがりました。



最後は全員で星影のワルツの替え歌「幸せのワルツを大合唱し、交流会を閉会。

「幸せのワルツ」

五十や六十花ならつぼみ

人の盛りは七、八十

みんなで幸せのワルツを歌おう

チャーチス ーズ おかきたこ



### 第7回理事会模様

★平成29年4月26日(水) 仙台市生涯学習支援センターにおいて、第7回理事会が開催されました

ア) 第16回通常総会議案の作成について審議  
イ) 総会の準備作業および役割分担について  
ウ) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について報告、説明  
エ) 広報、財政、組織、総務関係について報告  
オ) その他・調査、評価活動状況等について報告

### 第8回理事会模様

★平成29年5月10日(水) 仙台プロミス2階において、第8回理事会が開催されました

ア) 第16回通常総会議案の確定について審議  
イ) 第7回に続き総会時の役割分担について確認  
ウ) 諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について報告、説明  
エ) 広報、財政、組織、総務関係について  
オ) 20周年記念行事第3回実行委員会報告、第4回実行委員会開催

### 新年度第1回理事会模様

★平成29年5月30日(火)、仙台市生涯学習支援センターにおいて第16回通常総会に引き続き新年度第1回理事会が開催されました

ア) 20周年記念行事について  
・式典、講演会、記念誌、会員交流会等について準備作業および役割分担について最終確認の話し合い  
イ) 組織・総務についての審議  
ウ) その他・調査、評価活動状況について報告

(※詳細については事務局備付けの議事録を閲覧願います。)

### 「情報の公表」フォローアップ研修

平成29年4月13日(木) 仙台市生涯学習支援センターにおいて「情報の公表」2016年度第2回フォローアップ研修が開催されました。

2016年度調査活動を振り返って

①調査員報告書説明・質疑  
②意見交換等

の研修が行われました。

さらに2017年度の調査活動についての説明がありました。



### 「地域密着型外部評価」フォローアップ研修

平成29年6月30日(金) 仙台市生涯学習支援センターにおいて「地域密着型外部評価」のフォローアップ研修が開催されました。

・県のガイドライン、サービス実施要領、アンケートの結果、新人調査員同行について  
・前年度を振り返って  
・ステップの取り上げについて



「地域密着型外部評価」フォローアップ研修受付風景



新年度第1回理事会模様



## 「地域包括ケア推進検討委員会」だより

### 29年度第1回委員会模様

★平成29年5月31日(水)一万人市民委員会事務所において第1回地域包括ケア推進検討委員会が開催されました。(NPO)介護者サポートネットワークセンター「アラジン」の牧野史子理事長と10月8日に開催予定の「高齢者の住まいについて」のフォーラムについて、情報交換を行った。

### 29年度第2回委員会模様

★平成29年6月29日(木)一万人市民委員会事務所において第2回地域包括ケア推進検討委員会が開催されました。今年度の具体的支援について、さらに「地域包括ケア推進検討委員会」の体制整備に向け話し合いを行った。その後(NPO)介護者ネットワークセンター「アラジン」の牧野理事長と前回に続き情報交換を行った。

※「地域包括ケア推進検討委員会」については、ニューズレター120号の5頁をご覧ください。

### 「サロン・カフェ」支援活動

★6月9日(金) 榴ヶ岡地域包括支援センター主催のほっとサロンで支援活動を行ってきました。朝の9時半ですでに気温23度の暑い日でしたが、利用者は30名(新しい方2名)と大勢の参加がありました。皆さん笑顔で元気一杯でした。松島町の経路治療学会副会長の樋口秀吉氏の「認知症予防と歩行」のお話を真剣に聞きっていました。



ほっとサロン活動風景

### 事務局からのお知らせ

8月11日(金)から16日(水)までお休みします



設立20周年記念誌発行

◆記念誌が発行され、記念講演・交流会の参加者に配布されました。皆さんから感想が寄せられています

- ※ 諸先輩方の熱意と行動力に改めて敬服致しました。
- ※ 20年間の歩みの重みをかみしめ、感無量の思いで手に取りました。
- ※ 設立当時のいろいろな思い出が走馬灯のように懐かしく駆け巡りました。
- ※ 元大川代表の笑顔から 頑張らないけど諦めない」田の彼方のなお遠く：エトエルが送られているようでした。
- ※ それぞれの方々の思いが伝わってきました。
- ※ 明るいカラーの素敵な表紙に思わず目が釘付きました。

### ◆よろず相談会のご案内

平成29年7月から10月までの開催日程は次のとおりです

☆開催日程(29年7月～29年10月)

- |            |     |          |
|------------|-----|----------|
| ・7月25日(火)  | 相談役 | 安田廣治司法書士 |
| ・8月24日(木)  | 相談役 | 武田貴志弁護士  |
| ・9月26日(火)  | 相談役 | 安田廣治司法書士 |
| ・10月24日(火) | 相談役 | 武田貴志弁護士  |



# ボランティア つばめ

会員 櫻井 洋子

## ボランティア

かなり長いこと休眠していた趣味のバイオリン教室通いを再開して、十五年程が経過しました。

同年代の我が師は、偶々ボランティア演奏の依頼に快く応じるので、微力ながら私も毎月三〜四件お供しています。

訪問先は高齢者や障がいのある方のデイサービスや入居施設、市民センター、老壮大学の開閉講式、町内会行事や地域カフェなど仙台市内の全域多岐にわたっています。

ボランティアの語源はフランス語のボロンテ「意志」「喜んで」と聞いたことがあります。そんな気持ちで集いのお仲間に入っています。

季節に合わせた懐かしい童謡や唱歌、ラジカステーションなどに、ほんの少しくラシックを入れた曲目で、小一時間の演奏です。

最近ではシティホテル？と見間違えるような介護付き超高級マンションを訪問する機会がありますが、現在日本社会の縮図を垣間見ること、所得格差の将来像などが脳裏をかすめます。

## つばめ

毎年四月中旬頃、住んでいる団地にっばめが飛来します。昨年、数軒隣りのベランダの屋根下に番いが巣を作りました。やがてひなが孵化し、親鳥が休む間もなく虫を捕えて与えたり、成長した子つばめが飛ぶ練習をしている様子を日々微笑ましく眺めていました。

と、夏のある午後でした。三十羽位のつばめ集団がその巣の周りを旋回し、一、二羽づつ代わる代わる巣の中を覗いています。まるで何かを心配して気遣っているようでした。そろそろ皆一緒に南へ帰る時期で様子を見に来たのでしようか。

「だいじようぶ？」「ごめんね、先に行くよ」などと会話をしているかのようでした。

やはり巣立ちが遅れた子つばめ一家だけが残り、しばらく低空飛行の餌取り練習をけなげに続行していました。いつの間にか無事に旅立ったようでした。

「えらいものだなあ」と感心するとともに、仲間の弱者を気遣い、行動するつばめ達の自然な姿は何かしら、原点を教示してくれたように思えました。

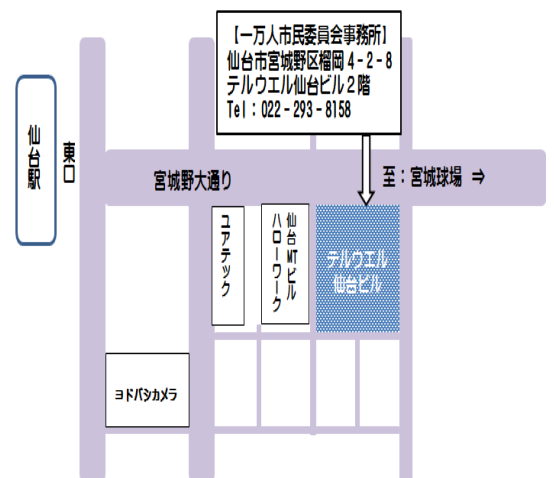
## 【編集後記】

設立20周年記念行事が開催されました。八戸先生からの講演に、今後の活動へのモチベーションを高めることができました。また、久しぶりの交流会とあって会員同士の親睦も深まりました。

「介護保険法を市民の求める制度」と手を挙げ、目まぐるしく変化する制度や社会環境の中で、20年もの間活動を続けてきたことに改めて先人たちの行動力に敬意を表する次第です。

この節目の年に設立時の原点に立ち戻り、日頃の活動から得た現場の声に耳を傾け「誰もが安心して暮らしていける社会」を目指し、提言していく活動をこれからも続けていきたいと、梅雨明け間近の空模様を眺めながら思わず一人つぶやいていました。

どなたか「つぶやき返し」をお待ちしております。 (荒井)



特定非営利活動法人  
介護の社会化を進める  
一万人市民委員会宮城県民の会

〒983-0852  
仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウエル仙台ビル2階  
Tel: 022-293-8158 Fax: 022-293-8230  
ホームページ: <http://www.ichimannin.com>  
Email: [ichimannin@alpha.ocn.ne.jp](mailto:ichimannin@alpha.ocn.ne.jp)

編集委員 荒井勝子 兼平幸雄 栗原節子 團 順子 前田泰子